

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

津山

日付 平成 20年 6月 23日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験6年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

津山市総社にある八幡神宮の裏側の高台に2ユニットのグループホームが開設して丁度1年になる。2ユニット目は入所が始まったばかりで、今回の外部評価は南面に建つ1つのユニットを対象に見せてもらった。

先日94歳のお誕生日を迎えたばかりの女性を筆頭に男性5人と女性4人の所帯で、要介護1~2の人が6人、要介護3が2人でまだ皆元気な人の集まりと云えよう。

午前のおやつが終わると、リビングルームの寛ぎのソファがある場所に利用者全員が集まり、体操が始まった。日勤の職員が当番で色々なリハビリメニューを入れて身体を動かす。それから「いろはにほへとちりぬる…ん」の言葉を一人ずつ、最初は紙に書いた字を見て読み、その次は暗記で朗読する。記録 再生のリハビリと発語機能にも役立つのだろう。次は2本の棒を持って体操をして身体を動かす。最後は歌を皆で歌い、約30分の運動を毎日する。この時間は利用者が身体や脳を働かせる重要な行為であるが、もう一つは、職員が利用者に行動させる関心を引き寄せるコミュニケーションの重要なきっかけでもあり、職員のリーダーシップが問われるところである。職員と利用者の間柄はとても良いので、常に体操やリハビリについて興味を持って楽しくできるような手法をしていてもらいたい。

広いリビングルームの壁には、利用者の作品や生活ぶりを写真で表わし掲示してある。貼り絵で作ったカレンダー、折り紙を貼って絵にした作品、クリスマスに三角帽子を作って、皆がこれをかぶってクリスマス会を楽しんだ。お雑祭りに一人ひとりのお雑さまを作った。節分には手作りの冠をつくり、写真入りでお多福、鬼になっている。誕生日のケーキでお祝いの様子、鯉のぼりや吹き流しが手作りで、季節のその時々行事をして楽しんだ事が良く分かった。利用者職員が一緒になって、四季折々の行事を利用者が長年歩んできた思い出を折り込んで、皆と一緒に仲良く生活している様子が伺えた。こんな行事やお誕生日会等を開催した時、あるいはこんな作品を作っている時に出てくる利用者の言葉や職員との話のやり取り等が、特別な記録として残っていると良いなあと考えた。認知症になって海馬周辺の神経細胞の死滅によって短期記憶の機能を失っていくと云われており、短期記憶ができなくなることが常識としているが、感情が伴った記憶はいつまでも残っており、その時の様子を写真等を見ながら繰り返し話しをしたりすると、結構思い出す(再生機能)ことができる。楽しかったことは、いつも、いつも話しをしていく“きっかけづくり”も試みてもらうと、グループホームでの楽しみも倍増できるのではないかと思う。

特に改善の余地があると思われる点

グループホームが開設して1年経って現状を見ていると、利用者職員の間柄も自然な雰囲気であるさがみなぎっている。職員は業務にも忙しいと思うが、一人に対して1日10分で良いから、目を合わせ心が通い合えるコミュニケーションを試みてあげて欲しい。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：理念はプリントされ、玄関やリビングルームで良く見える所に掲示してあり、職員もよく認識しているので、このまま進めていけば良い。唯今後は、この理念に掲げたホームの特長を地域に広報して、理解を求めていきたいと考えている。</p> <p>2、全体的に見て…：理念としてあげていることを要約すると「利用者が安心した暮らしの提供」「健康の維持・向上・管理に努力」「信頼と交流を」の3つをあげており、管理者の作ったものを職員とよく話し合い、この精神を日頃のケアやサービスに生かしていこうとしている。利用者とは話しさせていただき、職員の行動や利用者との関わりを見せてもらった結果、この3つのことの重要さはよく理解でき、食事と1年間の行事から利用者が安心と満足していることを感じた。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：敷地がある周辺の環境と建物全体のハードな面は出来たばかりで改善する必要はない。これからは、この施設と設備を利用者が使いこなしていけることに専念していき、利用者と職員の生活臭が浸みついたホームにしていくことを期待しておきたい。</p> <p>2、全体的に見て…：リビングルームは広い空間の中に食卓部分と大きいソファを配した寛ぎ部分に分かれている。リビングに面した外側に庭がありベンチが置いてある。片面に利用者の居室と浴室やトイレ洗面所がある。リビングルームに作品や写真や掲示してある。厨房はリビングルームの一劃に面してカウンター越しにつながっている。男性は5人も居るので、彼等の部屋の戸に相撲力士が貼ってあるのがユニークであり印象的だった。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：改善事項はない。開設して1年なので、まずは最初に決めたケアマネジメントの方法や制度等をやり切ってみる。それらを検証してみるのとは今後の課題であり、改善すべきことは次に生まれてくるのであろう。</p> <p>2、全体的に見て…：今年の4月から新しい管理者が就任した。控え目ではあるが、信念の強い人ではないかと推察した。これから認知症のことをどう考えていくのか、利用者に今何をしてあげたら一番良いのか等をよく考え、職員とよく相談しながら自分の真価を発揮されるだろうと期待したい。グループホームを多く見せてもらって感じていることは、認知症のことや認知症の人に対するケアについて、普通の人が常識的に考えてきたことが多すぎて、認知症の人の本質からずれている事もあると思っている。認知症の人の目にはどう映っているのか、どう感じているのか、現場の実践から生まれてくることは尊いと思う。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：開設以来運営推進会議も2ヶ月に1回着実に開催してきた。職員会議の議事録からも、四季折々毎月行事を実施している。消防訓練も実施した。介護計画や記録もしっかりしたものを残しており、実践している様子が伺えた。食事も4品1汁の献立で、バランスの良い食事を提供している。これらの運営体制とサービス提供の内容を見ると職員の皆さん頑張っていることがよく理解できる。今後はホームの機能を地域に還元したり、人材育成に貢献していきたいと考えているが、これらは将来の課題である。</p> <p>2、全体的に見て…：母体との関係もよく、管理者との意思疎通は充分である。管理者は同じ系列のグループホームの先輩管理者との交流も良くしており、ノウハウも吸収しているようだ。職員との仲間意識も高揚しているので、今年1年の成長が楽しみだ。</p>		